

放物線と直線② 解答と解説

1 [解答] (1) $(-2, 2)$ (2) 12

(1) 点 A は関数 $y = ax^2$ のグラフ上にあるから、 $y = ax^2$ に $x = 4$, $y = 8$ を代入すると

$$8 = a \times 4^2$$

$$16a = 8$$

$$a = \frac{1}{2}$$

よって、点 B は関数 $y = \frac{1}{2}x^2$ のグラフ上にあるから、 $x = -2$ のとき

$$y = \frac{1}{2} \times (-2)^2 = 2$$

したがって、B の座標は $(-2, 2)$

(2) 直線 l の傾きは $\frac{8-2}{4-(-2)} = 1$

よって、 l の式は $y = x + b$ とおける。

$y = x + b$ に $x = 4$, $y = 8$ を代入すると

$$8 = 4 + b$$

$$b = 4$$

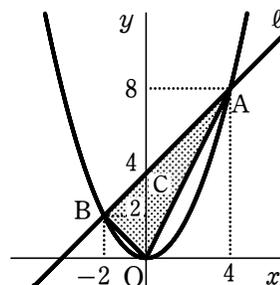
したがって、 l の式は $y = x + 4$

直線 l と y 軸の交点を C とすると

$$\triangle OAB = \triangle OAC + \triangle OBC$$

$$= \frac{1}{2} \times 4 \times 4 + \frac{1}{2} \times 4 \times 2$$

$$= 12$$



2 [解答] 32

2点 A, B の y 座標は、ともに -8 である。

$y = -\frac{1}{2}x^2$ に $y = -8$ を代入すると

$$-8 = -\frac{1}{2}x^2$$

$$x^2 = 16$$

$$x = \pm 4$$

よって、A の座標は $(-4, -8)$, B の座標は $(4, -8)$ で $AB = 4 \times 2 = 8$

したがって、 $\triangle OAB$ の面積は $\frac{1}{2} \times 8 \times 8 = 32$

3 [解答] (1) $a = 2$ (2) $2b^2, -b + 6$ (3) $(\frac{3}{2}, \frac{9}{2})$

(1) 点 A は関数 $y = -x + 6$ のグラフ上にあるから、 $y = -x + 6$ に $x = -2$ を代入すると

$$y = -(-2) + 6 = 8$$

よって、点 A の座標は $(-2, 8)$ である。

A は関数 $y = ax^2$ のグラフ上にもあるから、

$y = ax^2$ に $x = -2$, $y = 8$ を代入すると

$$8 = a \times (-2)^2$$

$$a = 2$$

(2) 点 B は関数 $y = 2x^2$ のグラフ上にあるから、 $y = 2x^2$ に $x = b$ を代入すると

$$y = 2b^2$$

B は関数 $y = -x + 6$ のグラフ上にあるから、 $y = -x + 6$ に $x = b$ を代入すると

$$y = -b + 6$$

答 $2b^2, -b + 6$

(3) (2) より $2b^2 = -b + 6$

$$2b^2 + b - 6 = 0$$

$$(b + 2)(2b - 3) = 0$$

$$b = -2, \frac{3}{2}$$

$b \neq -2$ であるから $b = \frac{3}{2}$

$2b^2 = 2 \times (\frac{3}{2})^2 = \frac{9}{2}$ より、点 B の座標は $(\frac{3}{2}, \frac{9}{2})$